

デジタルマーケットプレイス

Digital Marketplace

2014年11月、2012年に開始された「Gクラウドフレームワーク」で政府が提供してきた公共セクター向けオンラインICTアプリストア「CloudStore」をアップグレードし、ITサービスストア「Digital Marketplace」を開始。

公共機関がコスト効果および透明性の高い方法でICTサービスを購入できるもので、サービス提供事業者には多くの中小企業が含まれている。

Gクラウドフレームワークでは、2014年11月現在1,517の事業者が1万6,000以上のサービスを提供、88%が中小企業。2014年5月にスタートした「Gクラウドフレームワーク5」の現在までの売上高は3億1,400万ポンド、そのうち53%が中小企業売上。

英国内閣府は、2011年10月、新ICT戦略を発表し、向こう4年間でICT支出を約14億ポンド(約1,680億円)削減する目標を示した。新ICT戦略では特にエンドユーザ・デバイス、クラウドコンピューティング、ICT能力、政府のグリーンICT戦略の分野に力点が置かれている。

具体的な実施計画は以下の通りとなっている。

2011年10月：クラウドコンピューティング戦略を発表

2011年10月：エンドユーザ・デバイス戦略を発表し、実施プログラムを開始

2011年10月：グリーンICT戦略を発表

2011年12月：オープン・テクニカル基準(案)を発表

2011年12月：政府全体の情報戦略原則を発表

2012年3月：オープン・テクニカル基準を決定

2012年6月：オープン・テクニカル基準を省庁で利用開始

<http://www.fmmc.or.jp/ictg/theme/C.html>

<https://www.gov.uk/digital-marketplace>

英国政府は2015年12月までに、中央政府の新ICT支出の50%をクラウドコンピューティング・サービスに移行する計画。

Gクラウドのフレームワークは、公共機関におけるITサービスの購入、管理、デリバリーに大きな改革をもたらすもので、従量制料金を設けることで、公共機関自らがシステムを開発することなく、必要なサービスを必要なだけ購入出来る。

CloudStoreは、公共機関に対しより安く、素早く、透明性の高いICTサービスの購入を可能にするもので、eメールを初め、ワードプロセッシング、システムホスティング、企業のリソースプランニング、電子レコードマネジメントなどのサービスが提供される。